

公開講座の開設主旨・目的等

太古より人は声を発し、うたを謡い、詩を詠じてきました。しかし、印刷文化が発展するなかで、私たちはことばに宿る「声」の要素(オラリティー)よりも、書かれた文字(テキスト)を重視するようになってきました。文字に向き合うことの多い文学部の学びにおいても、ことばの聴覚性、身体性が意識されることは少なくなってきたといえるでしょう。しかし昨年、ボブ・ディランがノーベル文学賞を受賞したことをきっかけに、謡の文学性について改めて注目が集まっています。そこで今年度は、文学、歴史学、言語学の立場から、文字に書かれ視覚を通して認識される詩と、音声として発せられ聴覚を通して認識される謡との関係性に目を配りつつ、詩とは何か、謡とは何かを改めて問い直し、それらの成り立ち、さらに人の思考とのつながりなどについて考えてみたいと思います。

講義日程・題目及び講師

回	講義日	時間	講義題目	講師
0	9月23日	13:30-13:40	挨拶	文学部長 増本 浩子
1		13:40-15:10	ディラン—うたわれる詩—	教授 菱川 英一
2		15:20-16:50	詩・歌のリズムと言語学	准教授 田中 真一
3	9月30日	13:30-15:00	古代ギリシアの詩とパフォーマンスの場	准教授 佐藤 昇
4		15:10-16:40	中国古代の民間歌謡	教授 釜谷 武志

連絡先

神戸大学大学院 人文学研究科 総務係
〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1
TEL:078-803-5591
FAX:078-803-5589
E-mail: lsoumu@lit.kobe-u.ac.jp

※メールアドレスの一部(ac.jpの前など)には、アドレス収集ロボット対策として半角スペースが挿入されています。メールアドレスご使用の際には、適宜修正願います。